

通信 26号

…平和・協同・自然のひろば…

2012. 10. 1

らいてうの家

〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原1278

TEL/FAX 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会

〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20 5F

TEL/FAX 03-3818-8626

—— らいてうの庭で ～ 6月から9月始めまでに出会えた花たち ——

6月16,17日～ クリンソウ、ラン（2種）、ノアザミ、ヒレアザミ、コスミレ、アヤメのつぼみ、ベニバナイチヤクソウ、レンゲツツジ（満開）

7月9日～ グンバイズル（庭中に拡がっている）、ヤマアヤメ、ノアザミ、ヒレアザミ、コナスビ（黄色い小さな花）、アカバナ、シモツケソウ（蕾）、ウツボグサ、ミゾソバ、ホタルブクロ、シキンカラマツ、オカトラノオ、ウマノアシガタ、ヨツバヒヨドリ、カタバミ、アカツメクサ、ネバリノギラン、ヤブジラミ（ニンジンのような葉）

7月21～23, 28日～ ミヤマオダマキ、ノアザミ、ヨツバヒヨドリ、ホタルブクロ、クサイチゴ

8月20日～ コウゾリナ、オトギリソウ、シラネニンジン、ミゾソバ、ヨツバムグラ、ヒヨドリバナ、ヨツバヒヨドリ、キツリフネ、ハハコグサ、ギボウシ、ホタルブクロ、ヤナギラン、

9月1日～ ゲンノショウコ、キツリフネ、アカツメクサ、オオバコ、キンミズヒキ、オオマツヨイグサ、コウゾリナ、ミゾソバ、ハンゴンソウ、ヤブマメ、オトギリソウ、ヤマガラシ、オカトラノオ、ススキ、ネジバナ、ヤマハハコ、ヤマブドウ、エビガライチゴの実

「家」当番の人たちの記録と、9月1日の笹刈りの後の庭の山野草の観察会の記録を合わせたものです。写真の記録も整理できるといいなと思っています。（三留）

楽しいひととき — 子ども祭り — 8月5日(日)

昨年同様、真田町の緑地公園古城庵で猛暑を避けて行いました。前日の真田祭りは子どもたちも参加し盛大なお祭りで夜は花火もあがり、その次の日なので気がかりでしたが、子どもたち、お父さん、お母さんも会場に集まってくれました。真田らいてうの会の会員指導で折紙に真剣に取り組み、ミミールの会の「真田の民話」の紙芝居、玉手箱の会のパネルシアターとバルーンアートがあり、親も子も夢中、庵の中一杯に楽しいひとときでした。

今年は会員がポップコーンとニラせんべいに腕をふるってたくさん作り、参加者と一緒にいただきました。日ごろの子育てや都会から真田に、また外国から移り住んだ方もいろいろお話が出て交流を持ちました。子ども祭りでしたが大人も楽しんだ祭りでした。（花岡）

佳境に入った“宮島源氏”「帚木」の巻

「らいてうの家」の名物になった宮島満里子さんの「紫式部からのメッセージ — ジェンダーの視点から読む源氏物語」。今年も9月16日、東京からの参加者や男性受講者も交えて大勢つめかけました。今回は「帚木」の巻を中心に、平安時代の貴族の男性たちが勝手に女の品定めをしているように見えながら、じつは紫式部が織り込んだのは、高貴な姫君（上の品）が必ずしも才すぐれているわけではなく、むしろ「中の品」の女性のほうが自立心もあり、個性もあるのだ（紫式部も中流出身）というメッセージだったという解き明かしに、一同納得。終わってからもベランダで話の輪が広がり、楽しい一日でした。（米田）

心ときめくところ —お当番での出会い—

訪れるたびに発見のあるところ、それが「らいてうの家」だ。今年8月の当番も、また思わぬ出会いがあった。2日目の朝、8時近く。図書室の窓の外で数種類の小鳥がかわいい声で鳴きながら飛び交っている。小鳥たちは宙返りをしては軒先めがけてやってくる。くちばしには羽虫をくわえているのが見える。窓を開ければ部屋にも入ってきそうな勢いである。右手の白樺にはなんと“あかげら”が「コン・コン」と幹をつついていてるのだ。当番の朝は地元のお当番が来るまでは私一人。なんともったいないことか。その日の昼、またまたびっくり。広くなった「らいてうの家」の庭にクジャク蝶が飛んできたのだ。四阿高原は標高1500mほど。普通クジャク蝶と出会うのは2000メートル以上の山である。

木を切り庭を広げたことで、チョウの道ができたのかもしれない。今までは“ヒカゲ蝶”など、地味なチョウが多かった。今年は“カラスアゲハ・キアゲハ・ヒョウモン蝶”も飛来した。この夏も「らいてうの家」は私の心をときめかしてくれた。次の当番ではどんな出会いとときめきが私を待っているのだろう。（植草）

杏の会からご寄付をいただきました

長野県職員組合の女性部のなかで、女性の地位向上のためにがんばってこられた「杏の会」からこの間退職者も多く、この辺で会を閉じるに当たって会財政から「らいてうの家」に寄付したいとの申し出がありました。9月1日に7人の方が来館され、笹刈り後の昼食会の際に贈呈式が行われ、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

閉館後の大掃除予定

11月6日（火）

床等の水洗い

11月7日（水）

床ワックス、外壁ペンキ塗り、終了後今年も「家」運営の反省会を行います。よろしくお願いします。

上田・真田での「らいてう講座」

第4回 10月17日（水）

13:30~15:30 場所：上田ぷらざゆう

講師：米田佐代子会長

第5回 11月17日（土）

13:30~15:30 場所：上田ぷらざゆう

映画会「平塚らいてうの生涯」（羽田澄子監督）

東京での「らいてう講座」

第3回 11月17日（土）

13:30~16:00 場所：未定

講師：米田佐代子会長

昔語りの会：上田市丸子から

10月13日（日）

13:30~15:30 参加費 300円

・遺児として生きて、今思うこと

本間陽子さん

・男社会で一人生きる

山内輝子さん

・市川房枝の精神を受け継いで

—婦人有権者同盟の活動—

土屋花子さん

倉石貞子さん

「若ツバメの指環」!? の持ち主現われる

9月のある日、「母が『若ツバメの指環』を持っているというので、何のことかと調べたら奥村博史さんのことだとわかり、ここへくれば由来がわかると思って来ました」という方が見えました。「父が奥村さんからいただいたらしい」とか。お父さまとは？ と伺ったらなんとシャンソンをはじめ音楽演劇評論で有名な芦原英了さんでした。博史の遺作集『わたくしの指環』にもお名前が出ています。それから話が弾み、「来年も来たい」とおっしゃるので、いつか指環を見せて、とお願いまでしてしまいました。

NPO法人 平塚らいてうの会

東京都文京区小石川5-10-20 5F TEL・FAX 03-3818-8626

ゆうちょ銀行 口座 00150-9-553046 NPO 平塚らいてうの会